

# 平成29年産 特別栽培米コシヒカリ (こうのとりのお米:兵庫県豊岡市)



## 農林水産省新ガイドラインによる表示

### 特別栽培米

- 化学合成農薬 : 当地比8割減(有効成分)  
化学肥料 : 栽培期間中不使用  
栽培責任者 : 根岸 謙次  
住 所 : 兵庫県豊岡市木内888  
連絡先 : 電話 0796-23-4807  
確認責任者 : 田中 定  
住 所 : 兵庫県豊岡市香住627  
連絡先 : 電話 0796-27-0046  
精米確認者 : 中嶋米穀(株)  
住 所 : 鳥取市千代水4-3  
連絡先 : 電話 0857-28-9220

見える安心 創る安全

「コウノトリの舞」  
農産物



- ・豊岡産の農産物です。
  - ・種のと時から化学農薬、化学肥料は一切使用せず栽培しています。
  - ・有機肥料による健康な土づくりを行い栽培しています。
- <生産団体名又は生産者名>



豊岡エコファーマーズ

～生産者 豊岡エコファーマーズの皆様～

豊岡エコファーマーズではコウノトリと共生するお米づくりをしています。コウノトリのえさを増やすための田の管理をしながらお米作りを行い、コウノトリを自然に復帰させようとする、様々な生き物の豊かな相関関係がわかってきます。生き物を増やすお米作りをしていると、人間の為だけでなく、鳥の為だけでなく、虫や植物の為だけでなく、お互いが微妙なバランスでそれぞれを生かしあい共存していることがわかります。

コウノトリと共生するたんぼでまごころこめて育てたお米「こうのとりのお米」と共に皆様に健康と幸せをお届けします。

# ひょうご安心ブランド農産物生産計画書

## 1 化学肥料削減技術等の導入計画

＜ひょうご安心ブランド農産物の堆肥等施用による土づくり体系＞

施用時期 (月旬)	導入技術名*	資材名	使用量 (kg/10a)	入手方法	備考
10月	①	米ぬか	50	グループ内	いずれか選択
10月	①	堆肥（牛糞・鶏糞）	600	購入	
11月	①	稲わら全量還元	600	自家製	
4月		とれ太郎	60	購入	

\* 導入技術名は次の選択技術名から記載すること

①堆肥等有機質資材投入技術/②緑肥作物利用技術

＜地域慣行\*1の施肥体系＞

生産方式等別：減農薬 うるち米・もち米

施用時期 (月旬)	肥料の名称*3			使用量 (kg/10a)	窒素成分量*3 (kg/10a) (有機由来)	導入技術 (下記*4より 番号選択)	肥料の名称*3			使用量 (kg/10a)	窒素成分量*3 (kg/10a) (有機由来)	備考*5
	N	P	K				N	P	K			
	(有機N)	/	/				(有機N)	/	/			
4月						③	ズバリ有機			150	6.1 (6.1)	元肥（選択）ズバリ有機の秋季散布時は米ぬか、堆肥の投入不要 有機質100%
							4.08	6.5	4.1			
4月						③	かがやき有機			40	2.8 (2.8)	
							7.0	6.0	6.0			
4月						③	ファームパワーフィッシュ			40	2.8 (2.8)	
							7.0	4.0	2.0			
7月						③	かがやき有機			20	1.4 (1.4)	
							7.0	6.0	6.0			
7月						③	ファームパワーフィッシュ			20	1.4 (1.4)	
							7.0	4.0	2.0			
	計				8.5		計				14.5 (14.5)	削減割合 (100%減)

\*1 兵庫県の地域慣行レベルとして確認されている場合は窒素成分量及び有機由来窒素成分量の合計値のみの記入とすることができる

\*2 生産方式等は「無農薬・無化学肥料」や「露地」と「施設」の別など、明確な違いを設けている場合のみ記載すること（以下同様）

\*3 有機質肥料の場合は、有機Nの割合、有機由来の窒素成分量（kg/10a）を下段に（ ）書きで記載すること  
なお、新たに使用する肥料については、有機由来の窒素成分の割合や原材料がわかる資料を添付すること

\*4 導入技術は次の選択技術から記載すること

①局所施肥技術/②肥効調節型肥料施用技術/③有機質肥料施用技術/④その他技術

\*5 窒素・燐酸・カリの全てにおいて、有機質100%の肥料を使用する場合は、その旨を備考欄に記載すること。

## ひょうご安心ブランド農産物生産計画書

### 2 化学農薬削減技術の導入計画

（連続又は周年栽培の場合は代表的な作型に基づき記載し、季節等により防除体系に違いを設ける場合は、別々の生産方式として記載して下さい）

使用時期 (月旬)	対象病害虫 雑草名	＜地域慣行 <sup>*1</sup> の 防除体系＞		＜ひょうご安心ブランド 農産物の防除体系＞		生産方式等別：減農薬 うるち米・もち米		
		使用農薬名	削減対象 農薬成分 使用回数	導入技術 (下記*2より 番号選択)	使用農薬名	希釈倍数 (10a当たり の散布量)	削減対象 農薬成分 使用回数	最終 使用時期 (収穫〇〇日前)
4月下旬	イネシンガレセンチュウ			⑨	湯温種子消毒			
4月下旬	ばか苗病			⑨	湯温種子消毒			
6月中旬	1年生・多年生雑草				エーワン1キロ粒剤	1kg	2	移植後30日迄
7月下旬	1年生・多年生雑草				バサグラン粒剤	3kg	1	収穫60日前迄
8月上旬	紋枯病、いもち病、 カメムシ、ウンカ類			①	畦畔除草			
8月中旬	カメムシ類			①	畦畔除草			
8月下旬	カメムシ類			①	畦畔除草			
		回数計	20			回数計	3	削減割合 (85%減)

\*1 兵庫県の地域慣行レベルとして確認されている場合は、回数計のみの記入とすることができる

\*2 導入技術は次の選択技術から記載すること

①機械除草技術／②除草用動物利用技術／③マルチ栽培技術／④抵抗性品種活用技術／⑤ケイ酸利用技術／⑥光利用による虫害防除技術／⑦被覆栽培技術／

⑧生物農薬等利用技術／⑨熱消毒技術／⑩対抗植物・おとり植物利用技術／⑪フェロモン剤利用技術／⑫土壌還元技術／⑬その他技術

### 3 残留農薬検査の実施計画

＜ひょうご安心ブランド  
農産物の分析計画＞

検査対象農薬名	検査対象成分名	検査実績		検査未実施 等の理由 <sup>*1</sup>	検査計画		検査実施機関 又は委託先名
		実施時期 <sup>*2</sup>	検査結果		実施時期 <sup>*2</sup>	※	
エーワン 1kg粒剤	オキサジクロメホン		未検出		10月		日本油料検定協会
エーワン 1kg粒剤	テフルトリオン		未検出		10月		日本油料検定協会
バサグラン	ベンタゾン		未検出		10月		日本油料検定協会

\*1 自主検査免除の場合は「免除」と未検出成績の「年度」を記入のこと

※審査会使用欄

\*2 検査は、収穫後速やかにおこなうこととし、実施時期は「〇〇月」等と記入すること